

# 保育らくあか

福岡市長 高島 宗一郎 氏 書

編集・発行 一般社団法人福岡市保育協会 福岡市中央区荒戸3丁目3-39 福岡市市民福祉プラザ6F 発行者 篠原敬一 編集者 高山英樹



**福岡市議会 議長賞**  
**「ダンゴムシが 出ちゃう〜!」**  
 姪浜保育所 金澤 和美



**市民賞**  
**「えがおいっぱい」**  
 東青葉保育園 稲尾 友香



やまのみ松崎保育園 鈴木 綾香  
**西日本新聞社賞**  
**「先生〜!!それカメラ??」**



**保育士会 会長賞**  
**「わお! できた!」**  
 香椎浜保育園 宮下 遥



**福岡市長賞**  
**「いただきます!!!」**  
 いずみ保育園 吉原 夕稀



**福岡市 保育連盟 会長賞**  
**「溢れる笑顔」**  
 光和保育園 三根 愛香

## こどものえがお展 より

10月28日~11月1日 ソラリアプラザ1Fゼファ

vol.125 令和2年度 2号

コロナウィルス対策 アンケート結果 …… 2~3	秋の叙勲 …… 6
こどもたちの心のケア 園内研修報告 …… 4	2020こどものえがお展報告 …… 6
災害時の休園措置について …… 5	新園紹介 …… 7
災害対策 …… 5	コラム …… 8
オンラインfes について …… 6	編集後記 …… 8



# コロナウィルス対策 アンケート結果

コロナに振り回された1年になりましたね。みんなの健康はもちろんですが、子どもたちや保護者、そして職員たちのメンタルを心配する声も出ています。そこで緊急アンケートをお願いしましたがその結果が出ましたので掲載します

## 感染対策・工夫点

## 今後の対応・心配な点

### 卒園式

従来通り	縮小	中止	行っていない
10	134	2	2

- 衛生面 検温 消毒 マスク着用 換気 空気清浄機
- 参加者・人数 年長児のみ 在園児参加なし 人数制限 保護者1名迄 保護者2名迄 来賓参加なし 高齢者の参加控え
- 内容・環境面 内容変更(式次第見直し 挨拶等短縮 証書を園長が園児の前に行き渡した クラスごとに証書授与を行った。歌も最小限) 規模縮小 時間短縮(20分 30分 90分) 3分割で実施 謝恩会なし 茶話会なし 紅白饅頭なし 謝恩会の1部を含めた1時間 3密対応(距離をとる) 動線の見直し ビデオレター 園で開催 従来通り(卒園児が少なかった為)
- 体調面 2週間の体調確認 咳症状は休んでもらう

●検討中(令和3年度3月をどの様に開催すればよいか、人数制限、時間短縮、合唱をどうするか、3月なのでギリギリまでできるか判断が厳しい)●可能な限り従来開催したい、R3年3月も同様に行う予定、今後も30分で行って行く予定、次回は謝恩会の要素は含まないで開催、●コロナウィルスの感染状況による(時間短縮、人数制限、安全面などに留意間隔の確保。)●検温、消毒、マスク着用、換気●縮小してみ、かえてゆったりと出たので、この形態で実施予定●今まで通り(縮小前)がいいと保護者から要望あり。

### 入園式

従来通り	縮小	中止	行っていない
11	79	54	6

- 衛生面 検温 消毒 マスク着用 換気 空気清浄機
- 参加者・人数 新入園児のみ 人数制限 保護者1名迄 保護者2名迄 保護者3名迄 来賓参加なし 任意参加
- 開催 内容変更(式次第の見直し 放送を使用 日程変更 説明会同時開催 新入園児のみ個別来園 撮影場所設置 プリント配布、後日記念撮影のみ実施 新入園児のみ入園式 時間差で在園児の説明会 玄関に写真撮影用の立て看板設置 戸外を利用以上児、未満児に分けて開催 園長挨拶を園内放送) 規模縮小 時間短縮(20分 30分 90分 20分を5回) クラスごと 各年齢で 時間差、紅白饅頭なし、お祝いのメダルを渡す、3密対応(距離をとる)、7月に懇談会を兼ねて挨拶
- 中止 中止を貼り紙で知らせる、普段園で生活しない人が来園の為、各クラスで顔合わせ、新入園児保護者のみ短時間のならし保育をする、令和3年度は実施予定、各クラスで保護者だけの懇談を短時間

●検討中(入園説明会を面談式、屋上園庭で開催するか検討中)●コロナウィルスの感染状況による(人数制限、時間短縮、内容縮小、配置、個別対応、2部屋に分けて実施)●可能な限り従来開催したい、●来年度は2年分まとめて行う予定●来賓参加なし、検温、消毒、マスク着用、換気●来園者の感染●担任の顔と名前との間に時間が取れない●広い公園に集合時間をずらして開催したい●バス使用行事は当面中止●予防法が確立するまでは見合わせる



### 遠足(親子)

従来通り	縮小	中止	行っていない
4	12	112	19

- 参加者・人数 園児のみ、家族単位
- 開催時期 春を10月、11月に変更
- 内容変更 11月の動植物園での遠足は実施、家族単位でまわってもらうようにした、遠足ごっこを園庭で実施、予定していた親子での収穫体験を園庭に移動させ園児のみで行った、貸切バスを使用せず、現地集合解散として午前中で行う、保護者なし、近隣の公園へ変更、近くの公園に徒歩で、年長のみの参加に縮小にて開催、園児のみ、徒歩で行ける範囲で検討、目的地は子供たちで決める
- 中止理由 行先予定が緊急事態宣言で休園した、多数の保護者の交流を避けるため、大型バス移動の為3密を避けたい

●3月の5歳児お別れ遠足は検討中●収まり次第例年通り●保護者同士の交流をどう計画していくか●現地集合(クラス単位)プログラムの変更を検討●令和3年度、園から現地へ歩いて行く事を止め、現地集合にし、ネイチャーゲームの内容で工夫●園児、保護者、職員と合わせるとかなりの人数になってしまうので、しばらくは実施が難しい●広い公園に集合時間をずらして開催したい●バス使用行事は当面中止●予防法が確立するまでは見合わせる

### 夏祭り

従来通り	縮小	中止	行っていない
8	61	51	26

- 参加者・人数 園児のみ、保護者運営、年長児のみ、以上児のみ、年長児の保護者のみ、年長児と保護者1名、保護者2名迄、保護者会役員、人数制限
- 内容・環境面 クラスごと、時間差、以上児、未満児別日で開催、お店屋さんごっこ、緑日ごっこに変更、クラスごとにダンス、職員が複数のおやつを販売し3歳以上が食券で購入して食す、密にならないようにコーナーを増やし対応、ライブ配信実施、写真、動画、スライドショーで配信、時間短縮(20分)、浴衣、撮影して保護者へ配布、食品バザー取りやめ、地域や父母の会主催も中止、園児のスーパーの買い物は中止した

●時間制限なしで密にならないように検討●元々秋祭りとして実施、年長児、年中児のみこしの練り歩きは観覧する保護者も含め密になる●ハロウィン祭りとして園児、職員、父母の会役員で実施予定●地域、高齢者と関わる際の配慮●つまらなかったのが盛大に●地域の方との交流が出来ない

### バザー

従来通り	縮小	中止	行っていない
2	2	46	85

- 参加者・人数 園児のみ
- 内容・環境面 子ども達だけでお店屋さんごっこ、保護者会主催の為取りやめる、夜のイベントとして学年ごとに時間をずらし、保護者と入場、卒園児招待や地域の呼びかけをなくした

●今後も中止していく方向性●感染が落ち着けば以前のように実施予定●園内の開催なので密にならないように配慮●飲食を伴うので来年度も状況が変わらなければ難しい

### 芋掘り遠足等

従来通り	縮小	中止	行っていない
56	44	27	18

- 参加者・人数 園児のみ、年長児のみ、以上児のみ、4、5歳児のみ、保護者参加なし
- バス バスを大型にした、バスを増やす、座席工夫、換気、バス乗車中マスク着用、園バスを利用、少人数の乗車、バス乗車前の検温、消毒、歌、おしゃべりのないバスレク、クラスごとにバス乗車、3往復、バス、公共機関を使わない、クラスごとにバス乗車 大型バスに半数の定員 バス運転手の感染予防
- 場所・収穫方法等 2クラスを1クラスに縮小 地域の方が掘り、園児が収穫 外部の畑の芋を園庭に移動、園庭で育てた分をクラスごとに分かれて収穫体験後日焼き芋予定 園内の芋畑で行う 徒歩園内の畑 近くの畑、4、5歳児のみ アルコール持参 弁当は帰園後 親子参加で現地集合・解散(移動時の密を避ける) 各クラス分かれて 姉妹園と合同 受け入れ施設の対策を調べる 時間差 クラスごとにバス乗車、日程を分ける
- 代替方法 隣の公園にお散歩、帰園後弁当 徒歩で近くの公園 ハロウィンと会食に変更 中止、園児のみ徒歩で動植物園 近所などで計画 近隣の公園 クラスごとに近所の公園ミカン狩り、4、5歳児のみ、バス乗車

●バス内での感染、運転手との接触●ミカン狩りに代替、年長児のみ●バスでの密や感染が心配●貸切バスを心配して参加しない園児が1名●バス利用の不安●来年は3歳も●バス移動ではなく徒歩で行ける場所●西鉄バスや地下鉄で移動を実施していた事が出来ない



### 生活発表会

従来通り	縮小	中止	行っていない
14	110	5	4

- 参加者・人数 園児のみ 以上児のみ 4、5歳児のみ 年長児のみ 保護者2名迄 保護者1名迄、保護者参加なし 年齢ごと クラスごと 以上児保護者 来賓の参加なし クラス単位を横割り
- 内容・環境面 人数制限 時間差 時間短縮 リモート 入れ替え制 内容縮小 会場変更 内容変更 検温 消毒 マスク着用 換気 空気清浄機 保護者参加なし映像をDVD化、配布予定 未満児ビデオ録画 1クラス30分以内以上児、未満児時間を分ける 回数を分ける 出入口の別ネット配信 音楽発表と劇発表を分ける 3部制 映像配信 自由入退場 午前、午後 日にちをずらす 0~4歳児はDVD配布 従来通り、500名収容のホールを借りている

●リモートでの開催を検討●リモートを受け入れてもらうか●これを機に縮小を考えている●インフルエンザとコロナが拡大しないか心配●縮小しても感染の恐れが0にならない●園内ホールでは密は避けられない、時間差でも消毒に時間を取られる●動画配信がうまく出来るか●対策を取っていても心配●屋内の為、密が避けられない●感染の状況により中止、リモート検討

### 保育参観


従来通り	縮小	中止	行っていない
5	35	94	94

- 参加者・人数 以上児のみ 年長児のみ 保護者1名迄 保護者2名迄 人数制限
- 内容・環境面 1日3組限定 普段の保育を写真(お便り)で伝える 時間短縮 日程を分けて 6月は中止、2月は検討中 前期は中止 時間帯を分割 写真で知らせる プログを使用 検温 消毒 マスク着用 換気 空気清浄機 3密対応(距離をとる) 未満児クラスのみ1日1組 日々のクラスノート 年1回に変更、平日10日間、各クラス5名以内 オンライン予定 時間を決める、密にならないように 日程を増やす、以上児のみ9~11月実施 1日に3名 時間短縮(30分以内) 保護者アンケートにより中止 以上児、未満児に分けて実施 期間を設けて少人数 保育室への立ち入りと給食の試食を取りやめ 前期は中止、後期は保護者を分散して実施予定 以上児、未満児交代時間制 室内分は中止、体操教室参観は回数を分けて人数制限 3日間開催を10日に 6月は中止、11月はオンライン

●期間を決めて人数制限、●室内で密になるので再開の判断が難しい●リモートでの開催を検討●内容や場所の再検討により実施出来れば●子どもの成長した姿を見て頂く機会がない●感染が落ち着いたら年度末に行う●保護者の要望あり再検討●個人懇談を全クラス行う●保育参観ではなく少人数で行う保育参加に変更●日程、場所の都合で今後ではできないのでは?●保護者1名迄、未満の声も●次年度は実施未定●生活発表会時に通常の様子を放映

### 感染対策・工夫点

### 今後の対応・心配点

<h2>誕生日会</h2> <p>従来通り <b>46</b>   縮小 <b>84</b>   中止 <b>11</b>   行っていない <b>4</b></p>	<p><b>参加人数</b> 園児のみ 以上児のみ 以上児と誕生日児 年長児保護者 以上児保護者 誕生日のみ 誕生日と年長児のみ 人数制限 園児の誕生日に保護者1名迄 以上児と誕生日の保護者参加 未満児は紹介</p> <p><b>内容、環境面</b> 各クラスで 学年ごとに 以上児未満児分ける 2回に分けて実施 園内放送 ホール使用 ホールからクラスへ変更 園児の誕生日にクラスで 時間短縮 内容変更 内容縮小 会食なし 距離を取る 換気 消毒 保育士のマスク着用 以上児はマスク着用 2カ月に1回 動画撮影 動画配信 0~3は各クラスで、4、5歳児はホール使用 例年は職員とケーキを買いに行くが、紙粘土制作に変更</p>	<p>●元に戻したい●特別感が薄れる事●今後の様子をしながら元に戻す●来年4月より全体で実施予定</p> 
<h2>お散歩</h2> <p>従来通り <b>88</b>   縮小 <b>27</b>   中止 <b>22</b>   行っていない <b>22</b></p>	<p><b>行先、内容等</b> 職員マスク着用 10月から解禁 公園遊具使用禁止、トイレ利用控える 今迄の回数の半分以下 人数や回数を減らしながら行う 検温を徹底 移動距離短縮 帰園後、手洗いうがい、手指の消毒 広い公園や人が大勢いるようなところを避け行っている 近場のみ散策 ぼぼ行っていない 距離をとっての散歩体制がとれず、中止している。エコ教室にきてもらい、園内で自然体験ができるように工夫した</p>	<p>●散歩時にも消毒を持って行く●もう少し保育士の配置人数がいれば、もっと小グループでお散歩に行けるのと思う●公園など行きづらく散歩に今年度は行っていない●状況をみて再開の予定●密を避けることが困難●寒くなってくと、長い時間外に出ることも難しくなるので、運動量を確保してあげるか心配●今後も引き続き実施●1クラス毎、行き先の密を考慮して計画</p>
<h2>プール遊び</h2> <p>従来通り <b>45</b>   縮小 <b>37</b>   中止 <b>53</b>   行っていない <b>14</b></p>	<p><b>内容</b> 水遊び プール→水遊びに変更 代わりにどろんどろん遊びを実施(他児と水を共有しない) スプリンクラーやミストシャワーを設置 1回1クラスのみ 1日1クラス限定で行う 1回に入水する人数を制限(半分等) 着替えが密にならないように 回数を減らす タオルや着替え等の間違いが無いよう注意する 簡易プールを増やす 保育士はプール用マスク着用</p>	<p>●水遊び程度、着替えやすい服の着用●着替えの時に密にならないように少人数ずつ着替えていったが、時間がかなり大変だった●感染拡大の状況を踏まえ、密にならないように内容や配置を重視し行えるようにしたい</p>
<h2>地域等の交流事業</h2> <p>従来通り <b>5</b>   縮小 <b>41</b>   中止 <b>98</b>   行っていない <b>4</b></p>	<p><b>対応(公民館等)</b> 公民館の配慮に任せる 先方の意向を尊重 毎年訪問していた施設へのプレゼント作りのみ 高齢者とのふれあいがあるような行事は中止 公民館等に手紙やプレゼントを持っていく お手紙のみ プレゼント交換、施設内に入らず挨拶・交流 高齢者施設への手作りプレゼントや園庭での遊んでいる様子など外から見て頂く 職員のみ清掃活動 直接お伺いするのではなく、リモートにて体操や歌の交流</p> <p><b>園内(園庭開放等)</b> 園庭開放 3組のみ受け入れ、30分程度 行事のない土曜日の園庭開放を新たに行う 7月より開催(例年5月より)、参加者は大幅に減少 ・園内交流 年12回を6回に減らし、15組を5組減らした 玄関にて全員検温、体調確認、参加人数の減</p>	<p>●園だけでは決められないので関係先と話し合う●地域の方との交流をしたいが対策をとっていても、見えない感染の不安がある●前日、当日、保護者、子どもが37.5度以上の発熱、咳症状のある場合は受け入れない●地域の実態に合わせて実施●できるだけ地域とのかわりを持っていきたいと思っているが、感染対策としては難しさを感じる●人数制限にて実施</p>
<h2>送迎に関して(保護者への対応)</h2> <p>従来通り <b>42</b>   新たな対応 <b>107</b></p>	<p><b>対応</b> マスク着用 消毒 検温 玄関受け入れ 人数制限 1名での送迎 在園児以外の兄弟は玄関、園庭で待機 保育室内入室禁止 園庭や非常階段を使って、各保育室へお願いしている 発熱者入場禁止 園内の滞在時間短くしてもらい 園内への立ち入りを遠慮して頂く 登園時の手洗い、うがいの徹底 シーツ取付を園で行う サーモグラフィカメラの設置 啓発ポスター ICTの活用 掲示物のアプリ配信</p>	<p>●親の意識を高めたい●人手が要るのでいつまでできるかわからない。ICT導入も検討中●検温担当職員の確保●記録していないので保護者に任せているところがある●日々のコミュニケーションが取りにくくなり、この様子や伝達など行っても限度があり、保護者の不安などが聞き取れないこと●感染が落ち着けば以前のやり方に戻す。保育士の負担が増加している●消毒しない方が増えてきている●保護者同士の立ち話(接触時間?)が長い</p>
<h2>園児の登園、降園に関して(受渡の対応)</h2> <p>従来通り <b>54</b>   新たな対応 <b>98</b></p>	<p><b>対応</b> 玄関対応 検温、消毒 体調管理の徹底 マスク着用 門の前での手の消毒依頼 滞在時間を短くする</p>	<p>●保護者が部屋に入ることが心配●コミュニケーションの希薄化●今後も実施予定●職員の負担が大きくなっていること●強風雨天時の対応に苦慮するため、雨除け屋根設置等の検討</p>
<h2>運動会</h2> <p>従来通り <b>17</b>   縮小 <b>2</b>   中止 <b>2</b></p>	<p><b>参加者、人数</b> 以上児のみ 年長児のみ 4、5歳児のみ 保護者1名迄 保護者2名迄 人数制限 来賓の参加なし</p> <p><b>内容、環境面</b> 検温 消毒 園庭 野外活動センター 内容縮小 時間短縮 入れ替え制 2、3部制 出入りの際手首にイベント用テープ オンライン配信 運動会ごっこ 4歳児園児のみ 運動会ごっこ 以上児のみマーチング発表会を3日間で行う 保育士はマウスシールド</p>	<p>●縮小で練習に追われること少なくなくて良かった。今後もタイトなプログラムで良いと思う●従来の運動会を取りやめた事で保護者の不満</p>
<p>職員会</p> <p>給食時の配膳活動やクッキング</p> <p>お泊り保育</p> <p>子育て講座</p> <p>クリスマス会</p> <p>園内掲示物</p> <p>園児の歌と鍵盤ハーモニカ</p>	<p>クラスから1人だけ参加して伝え合う リモート検討</p> <p>中止</p> <p>日帰り 場所を県内に 園外と19時半お迎え</p> <p>縮小 2部制 人数制限 マスク着用 消毒</p> <p>縮小 全体からクラスごとに</p> <p>ホームページでフォロー</p> <p>中止 一斉に歌う、鍵盤ハーモニカを中止し楽器の演奏に変更</p>	<p>●歌う楽しさや声を出す喜びを体験させられない</p>

### 感染対策・工夫点

### 今後の対応・心配点

<h2>消毒について</h2>	<h2>園児</h2> <p>従来通り <b>65</b>   新たな対応 <b>82</b></p>	<p><b>対応</b> 登園時や外出後の手洗い後の消毒 声掛けを増やす 回数を増やす おやつ、給食前 トイレ後 手洗い後、ペーパータオル使用 手洗いや歌を流す 手洗いや体操 手洗い練習 スタンプ 消毒液のついたおしぼりを使って丁寧に拭き上げる クラスを超える交流を減らす オゾン、空気清浄機、次亜塩素酸噴霧器 食事以外のマスク着用</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手洗れ</li> <li>顔にかかると、手洗れ</li> <li>3密対応</li> <li>保育士が見ていないと適切な消毒が出来ない</li> <li>次亜塩素酸の効果</li> <li>必要以上に使う</li> <li>消毒液等必要な物が</li> <li>消毒液の費用</li> <li>手に入らなくなる</li> <li>ゴム手袋の値段高騰、手に入らない</li> </ul>
	<h2>保育環境</h2> <p>従来通り <b>31</b>   新たな対応 <b>116</b></p>	<p><b>対応</b> 園児が触れるもの、薄めた次亜塩素酸ナトリウム、アルコールで念入りに ドアノブ、手すり 玩具、寝具 遊具 園舎全体 布製玩具の使用停止 公園遊具の使用前消毒 回数増 換気 消毒スプレーの置き場所増 降園後の除菌スプレー 拭き消毒 机増 トイレ、うがい 時の並び方 歯磨き中止 密を避ける遊ぶ部屋の分散</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どこまで行うか</li> <li>手洗れ</li> <li>保育士の負担</li> <li>3密対応</li> <li>換気の際の近隣からの苦情</li> <li>消毒液の消費、値上がり、在庫</li> </ul>
	<h2>職員</h2> <p>着用義務 <b>123</b>   任意 <b>27</b>   着用不可 <b>1</b></p>	<p><b>対応</b> 園庭や公園で取る事可能 外して話さない様徹底 基本はつけない 場面によりフェイスシールド着用 体調による、保育中は着用 保護者対応時は着用 状況に応じ外す 出勤時マスク交換 手作りマスク配布 園で購入、配布 月に定数枚配布</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>送迎時間のみ</li> <li>表情がわかりにくい、子どもの発達に影響が出るのでは</li> <li>行事でマスク、</li> <li>熱中症</li> <li>マスクを着ない事への保護者の目線</li> <li>費用</li> <li>手作りマスク配布</li> <li>いつまで着用するか</li> <li>マスク不足</li> </ul>
	<h2>園児</h2> <p>着用義務 <b>7</b>   任意 <b>134</b>   着用不可 <b>6</b></p>	<p><b>対応</b> 保護者の意向 涼しくなってきたらお便りで着用を推奨 以上児は着用義務 衛生管理が出来ない 2歳児未満は着用しない、以上児は運動時のみ外す バスに乗る時、咳をしている時 園外</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>着用してもずらしている</li> <li>酸欠不足</li> <li>マスクの管理</li> <li>かぶれ</li> <li>保護者の要請</li> <li>熱中症</li> <li>言葉や表情の発達</li> </ul>
	<h2>保護者</h2> <p>着用義務 <b>108</b>   任意 <b>40</b>   着用不可 <b>0</b></p>	<p><b>対応</b> 送迎の園内に入る際お願い 貼紙やお手紙 マスクを忘れた場合、20円で購入してもらう メールでお願い 行事参加時</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マスク着用、園舎に入れない</li> <li>着用を拒む、他児との接触</li> <li>不審者との区別</li> <li>誰だかわからない</li> <li>着用忘れ</li> <li>保護者からの感染</li> </ul>

こどもたちの心のケア  
園内研修報告

いるべ保育園  
研修担当 木村 教子

新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、私たち大人も子どももこれまでの日常生活が大きく変わりました。

今年度の保育のスタートは、職員が各自の体調管理をしつつ、新型コロナウイルス感染症予防と保育とのバランスを試行錯誤、工夫しながら作り上げていきました。新型コロナウイルスの第二波のピークが過ぎた！と新聞紙面、ニュース等で報道を見聞きする喜び、しかし第三波がいつ来るかわからず。ここで気を緩めてはいけないとわかっていてもスキンシップが重要な乳幼児期の保育に悩ましい思いを抱え保育に邁進する日々でした。

そんななか、社会福祉法人真正会白百合心理・社会福祉研究所作成新型コロナウイルス感染症と保育園生活(乳児用)「心の健康とケア」のパンフレットを平野園長より情報提供を受け、タイムリーなこの内容を直接解説いただきながら、職員みんなで学習したいと思いました。同研究所の所長 青木紀久代先生に園内研修の講師依頼を行うと快諾いただき、園内研修が実現しました。

研修では、始めは新型コロナウイルス感染症と社会の変化を時系列で振り返りました。1月末に国内初の感染が確認され、2月にダイヤモンド・プリンセス号が入港し検疫を始め、国内初の死者が生まれました。わずか1か月で状況は一変、全世界に新型コロナウイルス感染症が拡大し、3月2日には全国の学校に休校要請が出されます。しかし、保育園は開園できず、保育園は保護者や子どもと関わるため、どこで、誰が感染源になるかわからず、保育士は不安になったものです。

マスクの着用について、保育園の特性上、保護者はいろんな職種の方が出て、いろんな人と関わっているためリスクは高いことからマスクを着用する園も増えていきました。マスク着用の影響について、6月にある発達心理学者が子どもはすぐに慣れる、適応力が高いと言われましたが、青木先生は違うのではないかとおっしゃっていました。大人がマスクをつけることで照らし合わせがなくなり、その結果、食事の丸のみが増え、食べる意欲が減退し残食が増えます。すなわち孤食と同じです。子どもは自分の内部感覚を共にしている人の同じ行動が同じ気持ちになるのであるからです。フェイスマスクも出てきましたが、子どもにとってはややこしいので保育には向きません。マスク越しでは伝わりにくく、話を聞かない子が増えました。マスク越しでは声がかもるため大きな声を出すことになり、怒鳴っているような保育になります。一緒に食べるこの大切さ、少し距離をとって、口の動きを見せ「もぐもぐ、ごっくん」と一緒に食べることにすると、残食が減った、というエピソードもあるそうです。大人がマスクをつけていると子どもは表情を読み取れません。声も聞けないので、大人が身体の向きを変えて伝えないといけません。

また、歌を歌うとき、みんなと一緒に大きな声で歌いたいですよね。覚えてたての歌も、自信がなく、声が出せなくなることも。保育士の口パクでもいいので保育を代替する必要があります。次に、子どものストレス反応と関わり方のポイントです。ぽーっとして活動に参加できない子、椅子の下にもぐる子が出て、保育士がその子と同じ行動をしました。すると「どうしてぼくのことをわかるの？」と言ったそうです。時には同じ行動をして、子どもに寄り添い気持ちを理解することや、「この子はどんな気持ちなんだろうね」と話し合うこと、子どもの様子を丁寧にキヤッチしていくことが大切です。



研修講師  
青木 紀久代 先生

新型コロナウイルス感染症での家族の分離や別れがあったとき、突然に伴う大人の緊張が高まった様子や慌ただしい雰囲気は、子どもを不安にさせてしまいます。また、感染症に付随した心無い誹謗中傷にさらされる可能性もあります。安心感を与えられるように「そばにいるよ」目配りとスキンシップで満たすかわわりを持ちましょう。家族の死や離別、とりわけ親の闘病や死といった出来事は、子どもに大きな不安を喚起する体験でケアが必要。「お星さまよ。いつかはみんな行くんだよ」子どもの気持ちに寄り添い表現していきましよう。

今年度の行事をどう考えたか。行事がなくなることで、奪われる育ち、発達をどう考えるか？保育をどう代替させて保障していくか、どうやったらできるか考える。すなわち保育の「工夫」です。

新型コロナウイルス感染症が流行する以前は素晴らしい環境の下で施設運営ができていた学童保育施設がコロナ禍の中で一変しました。外側にある環境が崩れちゃうとどんなことが起こるか考えておく必要があります。もう一つの学童保育は子どもたちの心身のストレス、落ち着かない様子から、従来の保育では補えないかと考え、ダンスやゲームを取り入れたプログラムを立てて実践したことで上手くいきました。これからの半期を保育園の子どもたちの育ちをどう考えてプログラム立てて実践していくかが大事です。

新型コロナウイルス感染症対応が長期化する中では、自分のことは後回しになりがち。一番大切なことは自分自身のセルフケアです。

- ・休みはしっかりととりましょう。気分転換も大切。
- ・仕事での体験や苦勞を同僚と分かち合う時間を意識して持つ。
- ・リラクゼーション法を自身のために行う。
- ・一人で考えずに相談を、子どものことと職員のこと、仕事のこと、家族のことでも誰かに相談できることが、とても大切です。

新型コロナウイルス感染症で状況が一変し、様々な制限を強いられました。その中で保育をどう保障していくかを考えさせられた研修でした。今までの保育から得た「知識、経験」をもとに、「架けられた梯子を外された時、本当の保育の力が試される」ことを、青木先生の「新型コロナウイルス感染症と保育園生活」心の健康とケア」をテーマに研修をしていただきます。



（参考・引用文献）  
「新型コロナウイルス感染症と保育園の生活(乳児用)」心の健康とケア」  
白百合心理・社会福祉研究所 所長 青木紀久代 研究員 村上葉月 大下侑里子 太田真由美 麻田萌2020年7月  
「新型コロナウイルス感染症と保育園の生活(幼児用)」心の健康とケア」  
白百合心理・社会福祉研究所 所長 青木紀久代 研究員 麻田萌 太田真由美 大下侑里子 2020年8月

# 災害時の休園措置について

信和保育園園長 伊藤 嘉朗

「過去最強クラス」といわれ、一時は特別警報発令も視野に入られていた9月の台風10号ですが、九州への接近を前にした9月4日(金)の段階で福岡市から市政初の「保育園全園休園(公共交通機関の運休が条件)」が各園に伝えられました。園児と職員の名を預かる園長の立場として、福岡市の大英断に深く感謝させていただきます。

「ただちに自らの命を守る行動に出て下さい」という特別警報が制定されたのが平成23年。同年9月に紀伊半島に死者90人を超える甚大な被害をもたらした台風12号が契機でした。地球温暖化が原因ともいわれる自然災害の「モンスター化」に国が対応したのです。

私事になりますが、その翌年の平成24年7月に特別警報発令の恐れがある強力な台風が福岡市に上陸することが確実視されていた時の話です。早良区選出の平畑市議のお取り計らいで当時の福岡市役所の方と電話でお話しできる機会がありました。そこで「職務の宣誓(註1)」を行う公務員と違って保育園職員は命の危険をかけてまで仕事する義務はなく、これに対して『出勤せよ』というのは生存権の侵害にあたりませんか?という、かねてからの疑問を口にしました。この時の市職員の方は「それでも保育園を閉め

ることは許されたいと思えます。家庭保育の要請もやめていただきたい。大災害時においても保育の需要は確実にあるのです」と主張されました。

そうなるも民間保育園の職員が災害で死亡した場合、誰が責任を取るのか、という問題が出てきます。「災害時無過失責任主義(註2)」の行政と違って民間保育園では園長、理事長に全責任が降りかかる。市職員が亡くなった場合は遺族年金まで支給されると思いますが、福岡市は園長・理事長を守っていただけなのですか?。それに対して明確な答えはいただけず、ただ「園は開けてはいただくが、今後の検討課題にはさせていただきます」という答えを得ただけでした。

つまり意識すれば「休園すること」は絶対に許されず、現段階では市は責任も取らないということになるという話を聞かざるを得ません。そのことを考えると今回の全園休園措置は隔世の感があります。また、それだけ災害の規模が予想をはるかに上回るものになりつつあるのでしょうか。

9月の「全園休園措置」については「台風10号に限り」という条件が付帯していましたが、それ以前に福岡市は「保育所等の避難情報発令時における臨時休園等の取扱い」(令和2年8月21日・指監第388号=別添)を出しています。地方自治体が出す警報

レベルによって保育園の対処すべき方針を示し「休園」の定義も明確に示されているものです。台風における気象庁発令の「特別警報」との関連性は言及されていないといえ、福岡市の方針はまさしく子どもと保育園職員の命を優先する英断に間違いはありません。我々保育園職員も、園独自の災害マニュアル作成や避難訓練、研修などにも積極的に参加し、子どもの命と同僚をしっかりと守れる保育園になるべく努力を重ねていきましょう。

◆註1「職務の宣誓」公務員がその任官時に「私は、ここに、主権が国民に存することを認める日本国憲法を尊重し、且つ、擁護することを固く誓います。私は、地方自治の本旨を体するとともに、公務を民主的且つ能率的に運営すべき責務を深く自覚し、全体の奉仕者として誠実且つ公正に職務を執行することを固く誓います(例)」など宣誓する事。

◆註2「災害時無過失責任主義」公務上の災害について(権原者の過失の有無にかかわらず)国がすべての賠償責任を負う事。出勤を命じられた公務員が災害出勤時に死亡しても上司個人は責任を問われない。



# 災害対策

長住保育園園長 古川 保法

9月1日は防災の日です。11月5日は津波防災の日となっております。

近年、地震、暴風、水害等の私たちの身の回りで起きる災害が増加傾向にあるようです。福岡は他地域と比べ自然災害は少ない方だと思われませんが決して油断はできません。台風はその大きさ、進路、勢力、到達時間などかなり正確な予報が出されますが、大まかな進路、風力などの情報が主で、それにより二次的に引き起こされる堤防決壊や土砂災害、竜巻や突風被害などについては大まかな予測しかできません。

また、より広い地域に大きい被害をもたらす可能性が、ある地震の予知は困難な状況にあります。

私たちは多くの子どもたちを預かっており保育中はその子たちの命を守る努力をする事が義務となります。災害は起きない事を願うばかりですが、今回は予め備えておくべき備蓄品などについて考察してみたいと思います。

- ・情報の把握、外部との通信連絡、ライフラインの状況、安全の確保が確認された後、保護者、関係各機関に連絡
- ・孤立した場合に備えての備蓄品
  - ・給食提供に必要な食料品関係水、ミルク(粉、液体)、米、乾麺、レトルト食品類、お菓子類、ジュース、など
  - ・使い捨て食器類、ラップ類、アルミホイル、キッチンペーパー、カセットコンロ、カセットボンベ
  - ・衛生管理関係
    - ・アルコール、次亜塩素酸など消毒殺菌用薬品類、ウェットティッシュ
    - ・使い捨て手袋、石鹸、ゴミ袋、レジ袋、ライト等照明器具
    - ・乾電池、毛布、使い捨てカイロ等防寒用品、軍手、ガムテープ、ブルーシート、マジックインキ、ボールペン
    - ・簡易トイレ、バケツ、雑巾、紙おむつ、お尻ふき
    - ・事務関連
      - ・関係各機関連絡先一覧、園児名簿、救急応急手当用品、懐中電灯、時計、携帯ラジオ
  - ・保育の維持のための備品
    - ・おんぶ紐、バスタオル、リードロープなど
    - ・遊具、絵本、お菓子類
    - ・トランシーバー等職員間の連絡ツール
    - ・着替え用衣類、布団、毛布

- ・バスタオル等
- ・トイレトペーパー、ティッシュペーパー、ウェットティッシュ、おしりふき、紙おむつ等
- ・食器類、スプーン、お箸、哺乳瓶
- ・消毒用薬品類
- ・その他の対策
  - ・水道、ガス、電気などの供給が遮断された場合の対策
  - ・外部との連絡ツールの確保
  - ・備蓄品の保管場所、量、賞味期限、などの管理確認
  - ・職員、園児の体調管理用器具薬品類
  - ・掃除や片付けのための用具など

防災は先ず自助、共助、そして公助と言われています。自助、共助には必要物品の備えが欠かせませんが、一番重要なのは自らの心構えと適確な行動力、冷静な判断力ではないでしょうか。わたしたちの力では自然災害の発生を防ぐことはできませんが被害を最小限に食い止めることは可能です。それには日頃からの安全対策、防災対応力、周りの状況に応じた柔軟な対応力、そして正しい判断と行動だと思っています。

災害はいつ起きるかわかりませんが、起きない事を願うばかりですが、日頃の訓練を欠かさず、しっかりとした準備と心構えを整え方が一に備えましょう。

故人曰く「備えあれば憂いなし」と



# NEW!! 新園紹介

## 千早天星丸保育園 (東区)

「千早天星丸保育園」は令和2年4月に「塩原天星丸保育園」の姉妹園として開園いたしました。

当園は、広々とした千早中央公園に隣接し窓からは緑や日光が降りそそぐ素晴らしい環境に恵まれ、真新しい園舎からは毎日子ども達の元気な声が響き渡っています。

『豊かな感性を育て、健全な心身の基礎を育成し豊かな心を養う保育の実践』を保育理念に掲げ「思いやりのあるやさしい子」「誰にでも仲良くあそぶ子」「健康で元気な子」「根気強くがんばる子」を育てるために、子ども達が日々「ひと・もの・こと」と出会い、様々な体験ができる保育環境を創っていきたく思います。更に地域の方々とのふれあいの場も大切にしながら、保護者や地域から信頼される保育園を目指していきます。

園長 大島 弘枝

定員 75名



## 元岡きらきら保育園 (西区)

「元岡きらきら保育園」は、令和2年4月に西区田尻にて開園いたしました。田んぼや畑に囲まれ、福岡市内にあってもまだまだ自然が残っている地域なので、のどかな環境の中のびのびと保育を行なっています。

どのような人と関わり、どのような環境で過ごすかということは、子どもの育ちにおいて非常に大切になってきます。そのため、当園では環境づくりに特に力を入れています。今後も整えられた環境の中で、一人ひとりの心に寄り添った丁寧な保育を行なっていきたいと思えます。

開園早々、新型コロナウイルスの影響により出勤を思いっきり控られましたし、今もなお緊張状態が続いています。そのような中でも職員が本当に「よく頑張ってくれてるね」と心から感謝しています。

園長 高木 禎晋

定員 105名



## 愛宕けいあい保育園 (西区)

西区愛宕神社の隣にこの4月に開園しました社会福祉法人さわら福祉会 愛宕けいあい保育園です。

「安心して失敗できる毎日を」「時間を忘れていこうと遊ぶ」もりのり食へて、ぐっすり眠る「そんな子ども時代を過ごしてほしいと願い、日々の遊びや生活の中で、子どもも保育士も育ちあっている保育園でありたいと思っています。

子どもを真ん中に保護者と保育士が手を取り合って、子どもにとっても、大人にとっても心地よく子育てをたのしめる居場所をつくっていきたいと思っています。また、地域の中にある子育ての拠点となるような保育園づくりを目指していきます。どうぞよろしくお願いたします。

園長 赤星 佐保

定員 80名



## るつてる愛育園 (東区)

東区三吉に4月から開園したるつてる愛育園です。福岡市でキリスト教保育を行っている数少ない保育園の一つです。「日本福音ルーテル」から、子どもたちが初めて覚えるひらがなで丸くてかわいい「るつてる」とお名前がつきました。

るつてる愛育園は聖ペテロ教会の隣にあります。松林が広がり緑豊かで、朝は鶯の鳴き声が聞こえる自然に恵まれたところです。子どもたちの遊ぶ場所も素材もたくさんあり、園庭が二つに、隣接地は公園となっています。松林の下は美しい砂、松ぼっくり、松葉ずせう、木の枝など、毎日夢中になって元気にいっぱい遊んでいます。35年前、母体である奈多愛育園の跡地でもあるので、地域の方からも愛育園が帰ってきたと喜ばれています。家庭や地域との連携を大切に考えていきます。

そして、子どもたち、ご家庭、地域の方々に頼りたれられる保育園でありたいと願っています。神さまが出合わせくださった一人ひとりの子どもたち、その家庭の方々や保育者たちがしっかりと手を結ぶ心をお寄せ合って、最も望ましい育ちができるよう努力したいと思えます。「神は空を造り、水の集まった所を海と呼びました(聖書)創世記より)スカイブルー・マリブルー。るつてる愛育園(園舎)のイメージカラーとなっています。

園長 浜砂 志津子

定員 90名



# コラム 災害から命を守る

まごころ保育園 園長 有松 健

この度機関誌委員より災害について、コラムの執筆依頼があり、子どもの命を預かる私達保育者は、毎年のように起きる自然災害にどのように向き合っていけばよいのか再考してみます。

我が国はその位置、地形、地質、気象などの自然的条件から、台風、豪雨、豪雪、洪水、土砂災害、地震、津波、火山噴火などによる災害が発生しやすい国土になっています。私が勤務しているまごころ保育園は宇美川のそばにあります。私が勤務する以前に、宇美川が氾濫したことがあったと聞いています。その時は保育園に被害はありませんでしたが隣の団地の駐車場が水浸しになったとのこと。その後には護岸工事があり洪水対策がされました。

皆さんも記憶に新しいと思いますが、一年の7月、大雨により宇美川の水位が今まで見たこともないくらいに上がりました。保育園がある一帯に避難勧告が発令され、福岡市指導監査課から電話があり、保護者にお迎えの要請をしてくださいとのこと、メールを一斉送信しました。しかし仕事だからなのかメールを見ていない保護者が多く、なかなかお迎えに来てもらえませんでした。宇美川の水位はどんどん上がっていき、このまま氾

濫したら大変なことになると、生きた心地がしなかったのを覚えています。その後職員で手分けして保護者に直接電話連絡してようやく全園児が帰りました。結局、宇美川は氾濫することなく事なきを得ましたが自然の恐怖をまざまざと見せつけられた出来事でした。

さて、みなさんの保育園でも毎月必ず避難訓練を実施していると思います。火災、地震、不審者、当園ではこれに加えて洪水の避難訓練も行っています。本園のみならず箱崎駅前の分園も防災計画対象施設に該当していますので、川から離れてはいますが、いざという時のために洪水避難訓練を行っています。避難訓練を行う上で気を付けなくてはならないのは危機意識のない訓練になってはいけないということです。訓練ではありませんが、できるだけリアルに、どのような設定で行うのかをしっかりと考えてから行わないと意味がありません。消化するだけの、訓練のための訓練になってはいけません。

ちなみに先日台風10号では初めての休園措置となりました。保育園が開いているから無理しても保育園に子どもを預けなければならぬから、休園措置にしてもらったほうがありがたいという保護者の声を聞いたことがあります。今回の台風10号の

休園措置という対応は間違いなく福岡市の保育行政の大きな前進だと思えます。子ども達のため、職員のため、保護者のために福岡市の思い切った対応にこの場を借りて感謝いたします。今後大切な命を守るために職員一同気持ちを一つにして、常に危機意識を持ちながら大切な命を守っていかうと思えます。



## 編集後記

数年前、花屋さんから朝顔の種を頂きました。すぐにプランターに植え、発芽してツルがフェンスに巻き付く頃には、「もう夏が来るな」と思ってしまう。年を重ねるごとにプランターだけでなく、いたるところから朝顔が生えてくるようになりました。台風などの風の影響でしょうが、朝顔の種が飛んでいったようで、特に地面から生えてくる朝顔は元気が良く、2、3日でどこまで伸びるの??と思うくらいに成長し、手に負えません。毎年何もしなくても同じ時期に花を咲かせ、毎朝暑い夏を涼しく感じさせてくれますが、今年は花が咲く期間がとて長く今は10月の末ですが、まだまだ花を咲かせています。気候が変なのでしょうか??私にはもはや夏のイメージの花ではなくなってしまいました。朝顔はいろんなところに巻き付いて花を咲かせますが、1年草なのでやがて枯れていきます。枯れて巻き付いたツルを捕っていくことを思うと、そろそろ疎ましいかな...来年は、繁りすぎないように気をつけようと思っていますが、たくさん元気な新芽が出ているのを見ると、ついつい残してしまいたい... (高E)

～感想やご意見はこちらにお送りください～  
【保育協会メールアドレス】kyoukai@hoiku.or.jp